

令和 6 年度 第 2 回防府市観光振興推進協議会
議事録等

□開催日時

令和 7 年 3 月 2 8 日(金) 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 4 5 分

□場所

防府市文化センター（防府市役所本館 8 階）

□次第

1 開会

2 議事

(1) 第 3 次防府市観光振興基本計画の進捗状況について

(2) 令和 7 年度事業の概要について

(3) 第 4 次防府市観光振興基本計画について

3 閉会

□配付資料

資料 1 第 3 次防府市観光振興基本計画分野別取組・進捗状況

資料 2 令和 7 年度防府市観光関連当初予算の概要

資料 3 第 4 次防府市観光振興基本計画の策定に向けて

□報道

なし

□傍聴人

なし

出席者名簿

敬称略・順不同

	区 分	委 員 名	所 属	出欠
1	学識経験	会長 加藤 真也	山口大学経済学部 准教授	出席
2	観光関係団体	松田 和彦	防府商工会議所 専務理事	出席
3	観光関係団体	中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	欠席
4	観光関係団体	宇野 好一	防府観光物産協会 会長	欠席
5	観光関係団体	種田 正幸	天神町銀座商店街振興組合 理事長	出席
6	行政関係機関	吉谷 由紀恵	(一社)山口県観光連盟 ゼネラルマネージャー	出席
7	市民（一般公募）	田中 元昭		出席
8	市民（一般公募）	西村 和能		欠席
9	市民活動団体	京井 和子	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと	出席
10	観光関連事業者 （旅行業者）	丹 康二	(株) J T B 山口支店 支店長	欠席
11	観光関連事業者 （産業観光関係者）	田中 真二	マツダ（株）防府工場 総務部長	出席
事務局		瀬川 博巳	文化スポーツ観光交流部 部長	
		田村 裕之	文化スポーツ観光交流部 部次長	
		藤本 奉文	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長	
		田中 陽一	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 課長補佐	
		村田 智生	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 観光政策係長	
		平井 耕平	文化スポーツ観光交流部 観光振興課 誘客推進係長	

議事概要	
1 開会	事務局より開会の宣言
(会議公開)	会議の公開について 意義なし
2 議事	
(会長)	本日の議案について、事務局から一括して説明後、意見交換を行う。 事務局から説明をお願いします。
(事務局)	議題（１）第３次防府市観光振興基本計画の進捗状況について ・資料１「第３次防府市観光振興基本計画分野別取組・進捗状況」により説明 議題（２）令和７年度事業の概要について ・資料２「令和７年度防府市観光関連当初予算の概要」により説明 議題（３）第４次防府市観光振興基本計画の策定に向けて ・資料３「第４次防府市観光振興基本計画の策定に向けて」により説明
(会長)	事務局から現計画に掲げた取組の進捗状況に関する報告と、令和７年度の主な取組、次期観光振興基本計画の策定に向けた説明があった。今年度は瑞風の立寄を契機とした様々な事業や、インバウンド誘客に向けた事業、さらには新たな観光スポットとなった競輪場のリニューアルなど、各分野で積極的な取組を進められた。観光客数は過去最高を更新する２５８万人が見込まれ、取組の結果が数字となって表れている。また、来年度事業については、令和８年度のＤＣに向けたコンテンツ造成や、大阪万博などの機会を捉えたインバウンド対策など、今年度の取組を活かしながら、新たな取組にも着手される。さらに、次期観光振興基本計画の策定に向け、現計画の検証や防府市の観光を取り巻く現状分析、課題について説明があった。増加する観光客に対応するための「環境整備」、防府の観光資源の魅力を効果的に伝える「情報発信」、消費を増やし満足度を高める「おもてなしの強化」、いずれも今後の防府の観光を大きく前に進めるために取り組むべき課題であると考えている。
(Ａ委員)	情報発信について、例えば毛利氏庭園の維持管理など、観光施設の裏側を紹介するような動画を作ってＰＲすると関心が高まるのではないかと。また、海に重点を置いた取組として、メバル公園にフィッシングパークを整備し、釣りによる誘客を図ってはどうか。
(事務局)	動画制作にあたっては、ご提案いただいたような新たな視点も念頭に置いて検討していきたい。フィッシングパーク整備については、釣り情報のＰＲなどを含めて今後の取組の参考にしていきたい。

(B 委員)	DC について、山口県観光連盟との連携も重要と考えるが、具体的な連携の取組があれば教えていただきたい。
(事務局)	山口県観光連盟が DC に向けたコンテンツ造成のための補助事業を実施している。市では防府観光コンベンション協会と一体となってこの事業を活用し、約 30 のコンテンツを造成していく。また、山口県、山口県観光連盟と連携し、全国各地での PR イベントに参加する予定。
(C 委員)	防府市からは観光客に喜ばれそうな素晴らしいコンテンツを数多くご提案いただいている。DC を機会に、多くの方に知っていただき、来ていただき、DC 後も続けていただきたい。10 月 22 日には、全国の旅行会社や JR の方にお集まりいただき、山口県の観光素材を PR する全国宣伝販売促進会議を開催する。会議と併せて、参加者に県内各地の観光素材を体感していただくツアーも計画している。防府市にも来ていただき、持ち帰って旅行商品や記事にしていだける機会にしたいと考えている。しっかり連携しながら DC を盛り上げていきたい。
(D 委員)	4 点お聞きする。まず、大阪万博での PR について、具体的な取組内容をお聞きしたい。次に、周南市との取組について、以前実施されたナイトクルーズを増やしてほしいとの声をお聞きしている。次に、大平山やメバル公園が小さなお子様がおられる方に大変良い場所となっており、市外からも多くの方が来られている。こうした中で、子ども連れで楽しめる飲食店のマップがあれば嬉しいという声をお聞きしている。市外からの誘客に繋がるのではないかな。最後に、今年度、松崎小学校で、自分たちの校区にある歴史資源を発見・発信するという取組を、市の協力を得ながら実施された。こうした取組が市内全域に広がっていくと面白いのではないかな。
(事務局)	大阪万博については、6 月 10 日から 13 日にかけて、山口県のブースが出展される。防府市は山口県央連携都市圏域で一体的なブースを展開し、防府への誘客に向けた PR をしていくこととしている。また、同時期に大阪市立美術館で開催される「日本国宝展」に毛利博物館の「四季山水図」が出品されるため、併せて PR していきたい。周南市との連携については、令和 4 年度に野島海運・周南市と連携したクルーズを 2 度実施している。令和 7 年度は、これまでの取組に加え、周南市の湯野温泉立ち寄りで団体旅行助成金を上乗せするなど連携を深めていく。クルーズについても体制が整えば実施を検討していきたい。子ども連れで楽しめる飲食店については現在該当するものがないが、観光コンベンション協会や地域おこし協力隊のホームページなどで紹介するような取組が考えられる。食事ではないが、授乳やおむつ替えができる「赤ちゃんの駅」のマップについては観光案内所や観光コンベンション協会のホームページで発信している。教育機関と連携した地域資源の発信については、松崎小学

	校の実績をベースに、引き続き各教育機関と連携していきたい。また、来年度教育委員会が主体となって「歴史マンガ」の制作に取り組むこととしている。子供たちが地域の魅力を発信できるよう、観光振興課としても関わっていききたい。
(D 委員)	様々な資源があり、庁内で連携した取組をされているので、しっかり発信していただきたい。
(会長)	来年度、山口県が高校生や大学生のアイデアと実行力による観光力強化を目的とした「若者活躍による観光力パワーアップ事業」を実施する。こうした若者の力の活用についても、次期計画にぜひ組み込んでいただきたい。大学としても協力できることは多いと思う。
(E 委員)	「発地別観光客数の状況」や「月別観光客数の状況」に防府市民は含んでいるのか。
(事務局)	含んでいる。
(E 委員)	「月別観光客数の状況」の1月と11月は事務局説明のとおり明らかに防府天満宮ということだが、若干10月の数値が高い理由は何か。
(事務局)	愛情防府フリーマーケットが開催されている。観光地別・月別ではメバル公園が他の月に比べて若干多い傾向にある。
(E 委員)	短い会議の中ではどうしても総花的な課題しか見えてこない。例えば、施設別・月別の観光客数や施設別の満足度などのデータをお示しいただければ、それぞれの強みや弱み、改善点などが見えてくるのではないか。今後は一部でも良いのでそういったデータがあれば様々な意見や提案ができると思う。また、次期計画についても、初年度から総花的にスタートするのではなく、最初の1、2年はある程度重点的な場所や項目に特化されてはどうか。計画期間5年間全体では幅広く盛り込む必要があると思うが、ぜひ思い切った優先順位をつけていただきたい。
(事務局)	各施設のデータについては、次回の会議等で参考資料としてお示ししたい。次期計画については、計画期間前半にデスティネーションキャンペーンや防府天満宮御神忌1125年式年大祭などが控えている。こうした機会を捉えた重点項目はしっかりと記載していきたい。
(F 委員)	KGI、KPIの達成に向けては、効果的な施策を選択し、集中して取り組むことが必要と考える。例えば、「月別観光客数の状況」に関連して、1月に初詣や合格祈願で防府天満宮に多く来られる方を市内の他の観光地へ誘導する

	ような施策を打つ、或いは、逆に比較的観光客が少ない時季に防府の気候や観光地を活かした誘客を進める、というようなK G I やK P I の達成に繋がる具体的な取組を次期計画策定にあたって検討すべきではないか。ポイントを絞った取組を検討していけば、事務局説明にあった「シンプルでわかりやすい計画」にもつながると考える。
(事務局)	「月別観光客数の状況」について、1月と11月を除く月の観光客数増は以前からの課題。防府天満宮に集中する観光客の市内回遊を促すという視点も持ちながら、実現に向けた具体的な取組を盛り込んでいけるよう、検討していきたい。
(会長)	防府市の現状のうち「満足度」について、公衆トイレに対して「やや不満」「不満」とされている方が比較的多く見受けられるが、理由として何か考えられるものはあるか。また、K G I の満足度1.41の算出根拠になっているのは「防府市の観光全体の総合満足度」のデータという理解で良いか。
(事務局)	公衆トイレについて、防府駅や防府天満宮のトイレ改修や日常的な清掃などに取り組んでおり、不満に感じられている理由として思い当たるものはない。トイレの特性上、衛生面で非常にきめ細かい対応が必要なものと考えており、日常の清掃やメンテナンスなどに引き続き取り組んでいきたい。K G I の満足度についてはお見込みのとおり。
(A委員)	公衆トイレに関しては、防府駅や国衙跡、毛利氏庭園の中など、しっかり整備されているように思うが、こうしたことをご存知でない方が多いのではないかな。市内のトイレマップなどがあれば、評価も変わってくるのではないかな。また、消費額について、最も多くの観光客が訪れる防府天満宮への賽銭や祈願にあたって納められるものが調査結果に反映されていれば数字が上がってくるのではないかな。
(事務局)	公衆トイレに関する情報発信については、観光情報を発信する中で検討していきたい。消費額について、観光に関する消費として項目を整理し、調査をしているため、天満宮へのお賽銭などは現状として消費額には反映されていないと考える。地域経済への波及効果の観点から、例えば、防府天満宮へ来られた方が参道沿いのお店でお土産を購入される、飲食をされるといった流れを作って消費額を押し上げるような取組を進めていきたい。
(E委員)	一例としてお聞きいただきたい。公衆トイレについて議論があったが、もしかすると衛生上などの問題ではなく、「ピーク時に数が足りない」といった違った切り口で評価を落としているのではないかな。もしそうであれば、ピーク時にある程度清潔な仮設トイレを設置することで不満が解消されるといったことも考えられる。「一例として」と申し上げたのは、他の項目でもこちらが考え

(会長) 3 閉会	ている基準ではないところで評価されている場合があるのではないかということ。基準が異なっているのであれば解決策も違ってくる。調査結果について、ぜひ多角的な視点から分析をしていただきたい。 過去最高の観光客数を記録する見込みの防府にあって、さらなる来訪を促し、消費額の増加や満足度の向上を目指すためには、しっかりとした計画と、それに沿った積極的な取組が必要と思う。次期観光振興基本計画の策定に向け、本協議会の役割はますます重要になる。お力添えをお願いします。本日のご意見やご提案は、事務局で持ち帰り関係者で議論させていただく。また、本日協議した内容を関係各課でしっかりと情報共有し、観光振興に繋げていただきたい。それでは全ての議事が終了したので令和6年度第2回目の防府市観光振興推進協議会を閉じる。進行を事務局へお返しする。
-------------------------	--